

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年2月1日

事業所名 さんSUNアフタースクール泉大津

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	内容によってスペースを区切って使用している。	のびのびと活動ができるよう日々工夫しながら利用していく。
	2	職員の配置数は適切である	0	5	日々の利用者様の状態に応じて配置している。	利用者様により良い療育を提供できるよう配置していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	階段両脇に手すりを設置している。	安全面に配慮し、危険な状況になる場面があれば早急に対処していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	4	目標設定や内容は明確に決めている。	計画、振り返りの部分が徹底できていない事例もあるので、取り組んでいきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2	1月にアンケート実施し、保護者様のご意見を反映している。	定期的に面談を実施し、保護者様のご意見、ご要望を形にしていけるよう取り組みます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4	今まで実施できていなかった。	すぐに保護者様に配布し、公開できるよう努めます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	今まで実施できていなかった。	第三者評価を行い、業務改善につながる様努めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	3	必要研修があれば参加できるよう日程調整している。	さらに研修の機会を設け、資質向上に向けて取り組んでいきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	情報共有に努め、課題を分析し、目標設定を行っている。	面談を実施することで、さらに保護者様のニーズを追加し、計画を立てて実践していけるよう支援していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	5	チームでのアセスメントを行う。	標準化されたアセスメントツールを使って支援していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	チームで話し合い、取り組む。	さらにたくさんのいろいろな意見を反映していけるよう立案していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	チームで話し合い、取り組む。	利用者様により楽しんで頂けるようなプログラムの実施に努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	季節やイベントに応じた課題を立案している。	利用者様により楽しんで頂けるようなプログラムの実施に努めます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	利用者状況に応じて計画している。	さらに全員が楽しく過ごせるように努めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	朝礼の中で情報共有している。	情報共有の徹底を目指し、ミスなく、スムーズに支援を行えるよう努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	利用者様の様子を伝えあい、次回の支援を話し合う。	当日不在であったスタッフにも漏れなく、情報共有できるように努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	3	連絡帳に記載し、保護者様にも情報を提供している。	連絡帳だけではなく、さらに詳細な情報を共有できるよう記録していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	月1回のモニタリング実施。保護者様、関係機関に情報提供している。	見直した結果どうなったのかまでを報告できるよう日々の記録の取り方を改善していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	0	総則にそって取り組めるよう工夫している。	さらに内容が充実するように努めます。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	利用者様のご意見が反映されるよう努めている。	さらに利用者様のご意見が反映されるよう日々の支援の中で意見をくみ取っていくような機会を設ける。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	契約時に、保護者様を通じて学校との連携を図っている。	利用者様の状況の変化により、その都度学校との情報共有、連携を図っていける様努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	現状では医療的ケアが必要な児童はいない。	医療的ケアが必要な児童が利用される場合には、連絡体制を整え、安全に対応できる準備をしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	5	現状では情報共有できていない。	情報共有し、相互理解に努めていけるよう取り組んでまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	現状では、そういった事例がまだない。	作業所や就労支援等、卒業してからの環境でスムーズに過ごせるように、情報を提供する準備をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	現状では、そういった事例がまだない。	研修や助言を頂くことで、さらによりよい支援ができるよう努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	現状では、そういった事例がまだない。	障がいのない児童との交流や地域交流ができるような機会をつくっていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	現状では、そういった事例がまだない。	機会を見つけ、積極的に参加できるように努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	3	送迎時にお伝えしています。	面談の機会を設け、さらに詳しくお伝えできるよう努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5	現状ではまだできていない。	来月にスタッフが研修を受講し、保護者様にお伝えしていく予定です。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	3	運営規定は玄関に置き、来られた方は閲覧できる状態にある。	契約時に、さらに詳しくお伝えできるよう努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	3	相談があれば、随時返答している。	助言しきれない内容については、研修等で講師に質問し、それを助言としてお返しできるよう努めているので継続しながら、専門性を高め、ご相談頂ける機会も設けていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	イベントを通じて実施している。	さらに機会を増やし、保護者様同士の連携に努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	マニュアルは作成している。	マニュアルの周知徹底を促し、迅速かつ丁寧な対応をスタッフ全員ができるよう教育に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	月1回の通信で報告している。	行事の予定等、出来る限り早い段階で保護者様にお伝えできるよう、また、活動の概要がわかりやすく発信されるよう努めていきます。
	35	個人情報に十分注意している	4	1	契約時に、細かく確認している。	チラシや、SNS等新たに個人情報を公開する場合は、再度確認をしていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	2	視覚支援等で個別支援を実施します。	さらにわかりやすく丁寧な情報伝達ができるように努めていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	夏祭り等の行事に招待した。	定期的に招待していけるよう計画していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	策定しています。保護者様に、面談時にお伝えしていく予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	5	実施できていません。来月に実施する予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	3	外部の研修に参加しています。研修の機会を生かし、事業所内でも伝達研修という形で実施していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3	緊急時には身体拘束という方法で安全を確保することはある。保護者様に十分に説明できるよう、また身体拘束を行った場合は時系列で具体的にご報告できるようなマニュアルの作成に努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	現状、対象児童がいないので、対応していない。対象の利用者様が利用開始されたときは、指示書に基づいて対応できるよう努めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	週2件、記録に残すことを目標にあげている。対応策が曖昧である場合があるので、同じヒヤリハットが起こらないように具体的な対応策を決めていけるよう対応します。